

## 「聖徳大学 食の安全・安心に関する講演会」講演概要

講師の専門である“食商品学”は食品商品学ではなく、食品はモノ、食は食べるという行為であると定義した上で、食は文化・民族性・歴史・地域性も反映するという観点に立ち、「食品のマーケティング戦略と安全・安心のシステム」という演題で幅広い内容の講演が行われた。

食品の形態や流通は、過去数十年で大きく変化したが、食品流通の温度環境制御のイノベーションを振り返り、生活者の利便性を重視した食品供給の重要性が解説された。さらに、これからは生鮮的加工食品や加工的生鮮食品のようなあいまい食品が増大するであろうという予測へと講義が展開された。

また、食品流通は性善説を前提にしていることから、無防備なもの指摘し、安全確保のための検査やトレーサビリティなど、食を取り巻く情勢について受講者と共に考える実例が数多く紹介された。